

科目名		言語聴覚障害診断学Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
言語聴覚障害診断に関連する基礎的概念を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
言語聴覚障害の基礎となると診断の詳細を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
適切な臨床活動を行うための基礎的能力を養う。									
回数	講義内容								
1	評価診断の理念、評価診断の目的、客観性・妥当性・信頼性の説明								
2	正常値と個人差の理解、仮説の設定・検証、事実の記述								
3	事実記述の例、練習								
4	評価の基礎的過程、検査の種類と選択								
5	検査報告書の作成								
6	訓練の方法、ゴール設定、基礎訓練と応用訓練について								
7	相談と環境調整、チームアプローチについて								
8	失語症の診断の基礎知識について								
9	失語のタイプ分類について（ブローカ、ウエルニッケ失語等）								
10	失語症の専門用語の再確認（喚語障害、錯語、反響言語等）								
11	検査方法について（自発話、復唱等）								
12	失語症のタイプ分類実践について①								
13	失語症のタイプ分類実践について②								
14	失語症のタイプ分類実践について③								
15	失語症のタイプ分類実践について④、まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
なし・配布プリント									
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									